

おばなざわ

平成23年
1.15
第68号

市議会だより

平成22年度一般会計補正予算など14議案を可決



賀正

尾花沢祭ばやしでオープン
平成23年市民新春祝賀会

11月臨時会 12月定例会	補正予算・議案の審議	2	ページ
	一般質問	4	ページ
	可決された議案・広域組合議会	10	ページ
	行政調査報告	11	ページ
	私のひとこと・議会のうごき・あとがき	12	ページ



平成22年12月定例会

一般会計	5,753万円補正	(予算総額 100億8,729万円)
国民健康保険特別会計	1億5,104万円補正	(予算総額 26億9万円)
介護保険特別会計	9,078万円補正	(予算総額 15億7,920万円)

補正予算の審議

一般会計

商業店舗出店補助金

質 今回の補正で、出店補助金2件分60万円が計上されていますが、その内容はどうか。また、この制度を知らない人が多いと思います。その周知方を図ってはどうか。

答 尾花沢市商業店舗出店補助金交付要領に基づき交付するもので、下柳地内の物産販売店と、荻袋地内の喫茶店の2件の出店に伴い、30万円ずつ交付する内容です。今後周知方を図ります。

平成22年12月定例会は、12月3日から10日までの会期中開催されました。12月3日は、加藤市長より今定例会までの概況報告が行われたほか、平成22年度一般会計補正予算、特別会計補正予算4件を含む13案件が上程され、提案理由の説明がありました。さらに請願13案件が常任委員会に付託され、審査が行われました。7日、8日の一般質問は、10名の議員が市政全般について質問しました。最終日の10日は、上程された案件を審査し、さらに議案1件が追加提案され、審議の結果、いずれも全会一致で可決されました。また、11月24日臨時会が開催され、県人事院勧告に伴う特別職及び、一般職職員の給与引き下げと、尾花沢小学校耐震工事請負契約の変更などの4案件で、いずれも原案どおり可決されました。

国民健康保険特別会計

後発医薬品の利用拡大を

質 今回の補正で、医療給付費



地域医療の中核 中央診療所

国保税の値上げは

が1億2千400万円の増となっています。少しでも医療費の伸びを抑えるためにも、医師と連携をとり「後発医薬品」の利用拡大を図ってはどうか。また、健康増進のための数々の施策がありますが、その効果はどうですか。

答 後発医薬品の利用については、医師会や各医療機関との理解と協力を深めて進めます。そして、病気になるらないための健康講座、老人体操、健康相談など、予防策に力を入れます。

質 医療費が今後も増大していけば、新年度において国保税の値上げになるのですか。国保税は重税感の強い税金で、払いたくても払えないという悲痛な叫びが聞こえます。もっと一般会計からの繰入れをしてはどうですか。

答 不景気の影響で、今年度の総所得が21年度と比べ25%ほど減額になり、国保税の歳入も落ち込みました。新年度において値上げするかどうかは、22年度の総所得状況次第です。また、一般会計からの繰入れについては、被保険者が市民全体の3割の加入状況であり、公平さを保たなければならず、難しいと思います。



宮沢西部地区浄水場

農業集落排水事業について

質 農業集落排水事業は、市内に3ヶ所あり工事はすでに終了しています。それぞれの加入率はどのくらいですか。

答 牛房野地区が93・2%、毒沢地区が81・5%、宮沢西部地区が17戸加入で51%となっています。

質 宮沢西部地区は、非常に低い加入率になっています。その加入率を上げるために、トイレの改修に課を横断して、リフォーム補助の利用はどのくらいですか。

答 宮沢西部地区の工事が終了し3年になりますが、接続費用の利子補給が、1年目が100%、2年目80%、3年目60%となっています。今年度が最終年度となっていて、課を横断しての対応をし、加入促進を図ります。

議案の審議

路線バス運行条例の一部改正

質 バスの停留所の時刻表が見えないもの、また飛んでなくなっているものもありますが、点検をしてはどうですか。

答 直ちに点検をして対処します。

質 バス時間の変更により以前宮沢線と銀嶺荘の乗り継ぎがでなくなることがありますが、今回のバス路線の延長、時間の変更によりそのようなことはないですか。

答 今回の改正は、基本的には、始発・最終が1.2km伸びるので、始発・最終の時間の調整にとども、また時刻表の変更の要望もありますので検討します。

過疎地域自立促進計画

質 本市過疎地域自立促進計画の教育の振興について、教育の充実になるよう見直しをしてはどうですか。

答 本市過疎地域自立促進計画は、第6次総合振興計画とあわせその一部と考えていますが、その内容はその都度見直しも可能なので、十分精査して見直しをしていきます。

地域情報通信基盤整備 工事請負契約の変更

質 光ブロードバンドサービスの加入希望状況はどうですか。工事が終わった所から供用開始するのか、それとも全部終わってから供用開始するのですか。

答 工期は12月28日までで、工事は順調に進んでいて、ケーブル布設は済んで完了確認の段階で、供用開始は、1月5日からです。加入希望状況は、福原、玉野、常盤合わせて576世帯の希望を取りまとめています。これは全体の24・5%です。

11月臨時会

議案の審議

市一般職員給与引き下げ

質 公務員の給与が高いわけではなく、給与を下げると購買欲が下がり、地域の活性化にならないと思いますか、どうですか。

答 県人事院勧告の内容は、民間の給与動向と比較したもので、国、県、市町村の財政状況、民間の景気動向を重視した対応と思われまます。

火災予防条例の一部改正

質 本市の住宅用火災警報器の設置率はどのくらいですか。

答 4月に調査したところ、50%を超えています。現在はもっと上がっています。

尾花沢小学校耐震改修等工事請負契約の変更

質 尾花沢小学校の煙突からアスベストが検出されましたが、法律に従い作業を行っていますか。

答 法的なものを遵守しなければならぬことは当然です。工事には細心の注意を払うよう関係者と協議をしています。

質 平成16年から17年にアスベストの改修を行ったはずですが、煙突についてはもれていたのですか。市内の煙突のある公共施設は調査したのですか。

答 平成17年度は吹きつけ部分を調査したが、煙突は対象外でした。尾花沢、寺内、玉野の各小学校を除く9校の煙突も調査したら、アスベストが検出されましたが、切除したり倒したりしなければ問題は無いということ。これからどういう処置をするか内部で検討します。尾花沢地区公民館の煙突についても現在サンプルを調査中です。アスベスト含有が認められたら、基準に基づき対応します。



12月定例会

一般質問



大類準一議員

循環型農業の確立を

質 学校統合による、旧校舎の活用について、地域の歴史・文化などの資料の収納や展示場所として検討してはどうですか。

市長 今年度、尾花沢小学校と統合し、牛房野小学校が閉校になりましたが、本市埋蔵文化財の収蔵及び展示施設として、今年度より利用していきます。統廃合となる小学校の利活用について、市民の皆様からご意見をいただきながら検討してまいります。

質 林業の活性化・里山活用みどり環境税交付金事業について、どのように考えていますか。また、具体的な計画はありますか。
市長 市では、みどり環境交付金を活用して、松くい虫防除や間伐材を利用した衛生ステーションの設置、徳良湖周辺の緑化推進や、8事業を実施したところとです。森林の活性化については、細野地区でナメコ・ワラビ等の特産物の生産整備が実施されています。
質 県内で、繁殖牛の飼育に取り組む青年が報道されていますが、地元での繁殖・肥育・飼

料米生産・水田への堆肥という循環型農業を確立すべきではないですか。また、繁殖農家の育成と飼料米栽培についてはどうですか。

市長 尾花沢市では元々繁殖と肥育の一貫経営農家が主流でしたが、コスト面や自然環境が厳しい中で飼養の難しさ、さらには、規模拡大により肥育専門に移行した畜産農家も多数あり、現在に至っています。

飼料用米については牛1頭に1日1kgの飼料用米を給餌した結果、旨味成分であるオレイン酸が高く脂肪の融点が低いなど、食味の優位性が確認されています。管内の肥育牛に給餌される体制づくりを検討してまいります。
質 一定額以上の公共事業や業務委託を対象に、賃金水準などを設定する公契約条例を制定してはどうですか。

市長 公共事業などの賃金決定は県内統一した基準で積算しています。国・県を含めた法整備と併せて検討する必要があると考えています。



伊藤精一議員

尾花沢市の農政について

質 TPP（環太平洋パートナーシップ協定）に対する市の対応はどうですか。

市長 TPPについては、関税が撤廃された場合、本市農業経営に甚大な影響を与え、農業が崩壊し、国民への食糧供給を確保するという国家の責務も大きく揺らぐ危険があり、食糧自給率は14%に低下すると農水省は試算しています。食料をほとんど海外に依存することになります。国が将来の農業に対する政策やビジョンが明確に示されていない現状では、TPPへの参加は断固反対すべきものと考えています。

質 米価下落対策についてどう考えていますか。

市長 米価の下落対策に関しては、本年から戸別補償モデル対策事業が実施され、当年度の販売価格が標準的な販売価格の過去3年平均を下回った場合には、その差額を今年度中に交付されることになっています。さらに県では米価下落対策として、無利子短期運転資金制度が創設されました。市単独補助について

は、今後検討してまいります。
質 ナラ枯れ対策についてどうですか。

市長 ナラ枯れ対策としては、チップ材やフェロモンを利用し、おとり木対策等があります。被害の拡大防止は限界があり、今後はナラ枯れから守るべき地区を指定して、樹幹注入等により防止対策に努めてまいります。

質 みどりのふるさと応援隊について来年度も継続しますか。

市長 協力隊の活動が地域の活性化に大きく寄与していることから来年度も事業を継続していきたいと考えています。

質 ふるさと振興公社の健全経営についてはどうですか。

市長 公社の経営改善計画により、経営健全化に社員一丸となって努力はしていますが、依然として運営状況は厳しく、営業活動の強化や花笠踊り体験、手打ちソバの提供など誘客のための新たなメニューが実施され、入込み客数が増加しつつあり、今後施設の運営方針の指導を徹底したいと考えています。



12月定例会

一般質問



五十嵐佳満議員

新鶴子ダム・冬期水利用
「雪国特区・尾花沢」に向けて

質 新鶴子ダムの、この20年は農林水産省と国土交通省の狭間にあつて、まさに「水の冬期利用」における本市要望は、国の縦割り行政に揺らされて来たものと思ひます。水はこの地球の宝です。人が作った法により、不自由な宝になることも、これまた不条理なことと考えます。

尾花沢市にとって、冬期の除雪・流雪・融雪は市民、行政、政治が一丸となり取組む課題です。「雪国特区尾花沢」を取得すべく強力な要請を国に働きかける考えはありますか。

市長 新鶴子ダムの水の冬期利用については、水利権の獲得という点において、難しいものがあると思ひしていますが、豪雪地の尾花沢にとって水の有効利用は必要不可欠な課題であり、今後とも関係機関に現状を訴え、水の有効利用に向けて運動を行つていく考えです。構造改革特区については、冬期間の市民生活に関わることであり、関係省庁に対して粘り強く要望してまいります。

質 新鶴子ダム償還最終年度の

平成27年度に備え、その基金の積み立てを本格的にする必要があります。他の事業費の償還と相まって公債比率が上昇するところが予想されますが、どうですか。

市長 新鶴子ダムの償還金は平成3年度から始まり、平成27年度まで続きます。毎年、4億5千万円余りを償還してありますが、今後、国や県からの助成金が年々少なくなり、本市財政にとつて大きな負担となつていくと認識してあります。他事業の償還金と併せ、公債比率も増加すると予想しており、後年度での財政負担を軽減するためにも、新鶴子ダム受益者負担償還対策基金への積立を行つてまいります。



鶴子ダム



大類好彦議員

仕事発注と物品購入は
地元業者を優先に

質 地元業者を優先に仕事の発注・物品購入をしてはどうですか。
市長 消耗品等は地元業者優先の発注状況であり、今後は、他市町の業者と競合できる体づくりを期待します。

質 子宮頸がんの予防ワクチン接種の無料化はどうですか。
市長 子宮頸がんは、20代など若い方の発症率が高まっています。ワクチンによる予防が可能です。約5万円の費用を要しますが、今般、公費助成により無料での実施に向け準備をしています。

質 つや姫の作付け拡大についてはどうですか。
市長 山形県では、生産者を一定の要件により認定し、品質の徹底管理を行つています。作付面積については、今般平成23年産の作付面積を700ha増やし3千200haに拡大する旨の連絡がありました。

質 花笠ニュータウンの契約状況はどうですか。
市長 現在まで3区画を契約販売し、販売数は22区画(59・5%)となつています。今後とも引き続き販売促進を行つてまいりますので、情報提供やご協力を

お願いします。
質 プレミアム商品券を15%へしてはどうですか。
市長 今後、財政状況を勘案し、新年度予算の編成と併せて検討してまいります。

質 シルバー人材センターへ就業拡大はどうですか。
市長 民間事業所が行うべき業務と、シルバー人材センターが請け負う業務は、すみ分けが必要ではないかと考えています。

質 尾花沢シヨッピングビル2階の「こども広場・高齢者いこいの場」はいつから開始しますか。
市長 子育て支援や、まちなかの賑わいづくりのため、来春4月の開設に向け準備を進めています。

質 小学校の暖房設備の充実を図つてはどうですか。
市長 暖房機に不足がないかを学校側と確認しながら対応してまいります。

質 今年の除雪体制はどうですか。
市長 冬期間の安全安心な暮らしを守るため作業の安全と事故防止に努め、より効率的な体制を目指して作業をしてまいります。



12月定例会

一般質問



菅野修一議員

農業産出額100億円突破の方策は

質 本年の米価暴落には、水稻種籾への半額助成等の独自政策を打ち出すべきと考えますがどうですか。

市長 種籾への助成等、市の単独補助については、財政状況をふまえ、今後の課題として検討していきます。

質 本市の和牛肥育は質・量とも拡大していますが、粗飼料の稲わらの確保が重要になつてきています。市内水田の稲わらを利用する耕畜連携を強力に推進すべきと考えますが、どう取り組みますか。

市長 昨年、耕種農家及び畜産農家、関係機関並びに関係団体が一体となった尾花沢市耕畜連携研究会を立ち上げ、稲わら、飼料稲等の栽培と収穫技術の向上、さらには畜産物の高付加価値化とブランド化、水田への堆肥散布を普及させる目的で研究を進めています。本市は、稲刈り後の稲わら収集時期の天候が続かないことが最大の課題であり、ほとんどは隣の宮城県より調達しているのが実情です。研究会では、稲わらの収集の

実証試験、実演会を行い、稲わらをサイレージ調整して保存する方法が有効であることが実証されており、今後とも普及拡大に努めていきます。稲作農家の稲わらを肉用牛の餌に、畜産農家の堆肥を稲作農家へ散布するという「耕畜連携の輪」の体制づくりを進め、本市の循環型農業を推進していきます。

質 所得向上を図る農業の6次産業化の取り組みはどうですか。

市長 6次産業化の推進につながるよう、パッケージ事業で「尾花沢ブランドづくりと販売戦略」「尾花沢らしさで売れる商品づくり」等各種セミナーを開催し、付加価値を高める周年農業の可能性を探っていきます。

質 市議会議員等の特別職報酬審議会の開催を求めたいが、市長の考えはどうですか。

市長 特別職報酬等審議会は、市長の諮問に応じて報酬等の額を審議し、当該条例を議会に提出するとき意見を聴くための機関です。審議会の開催は、まず議員全体の合意が不可欠と考えられています。



奥山 格議員

農家戸別所得補償について

質 福原地区の小学校を1校にし、校舎は寺内小学校を使用し、平成26年度からスタートすることに決まりましたが、受入れ小学校の校舎の整備が必要になるのではないですか。

市長 6年生まで各1クラスとなる見込みであり、普通教室の対応は可能です。他の教室・施設についても授業に支障のないよう対応します。

質 児童が急病になったとき、迎えに行けない場合があることが心配されていますが、どのような対策を考えていますか。

市長 大事に至らない急病等は、基本的に保護者の送迎ですが、統合したことにより距離的、時間的な要因ですぐに迎えに来ることができず、タクシー等を利用し医療機関へ送迎した場合、かかった費用について、ある程度の助成を検討します。

質 米の概算払いの価格が安過ぎ、戸別所得補償の単価10a当たり1万5千円を足してもまだ安い、差額補償を十分してもらわなければならないのではないですか。また、大規模に米

作りをしている農家ほど、諸経費や賦課金等の支払で大変になります。支援策はどうですか。

市長 戸別所得補償については、これまで、変動部分を除く補償金については11月10日から順次交付しており、変動部分については、今年度中に交付されることになっていきます。今後は、来年度から本格実施される戸別所得補償制度について大規模農家対策等不十分と思われる点について国に対し要望していきます。

質 商店街協同組合で実施している「御用聞き・宅配サービス」について、今後、市で支援してはどうですか。

市長 全国的にも問題となっている、高齢者などの買い物弱者対策の一環として有意義な事業ですので、市としてもぜひ継続していただきたいと思っています。

質 雇用の場の確保のため、企業誘致をどう進めていく考えですか。

市長 トヨタ関連企業を誘致するため、宮城県と隣接しているので国道37号の通年通行が最優先の課題です。



12月定例会

一般質問



加藤克彦議員

市長公約の退職金削減の実現は

質 市職員に接遇マニユアルの周知徹底を図り、市民サービス向上を図ってはごうですか。

市長 10月に全職員に接遇マニユアルを配布し、市民への接遇に実践として活かしており、また、ワンストップサービスにも心掛け市民目線で対応していきます。

質 市長公約の退職金の大幅削減は、県市町村職員退職手当組合議会の理解と、可決の見込みはごうですか。

市長 退職金削減については、各市町村の動向や、民間企業への影響等、さらには、退職手当組合の関係を整理検討し、その時期まで見直しを図っていきます。

質 自然エネルギーを活用した、小型風力発電、小水力発電を利用した、ハウスクリーニングや鳥獣対策用電機防止柵の利用促進を図ってはごうですか。

市長 本市の気象条件や特性を作物の種類・栽培方法などの可能性について研究していきます。また、市内で風車を設置した方が1名いますので普及可能か経

過を見守っていきます。

質 入札制度やランク制度を見直し、一般競争入札の早期実現を図ってはごうですか。

市長 本市においても入札制度改革に向けて、条件を付した一般競争入札の導入や指名参加の格付け、入札範囲基準など、総合的な検討を行っているところ

質 除雪委託業者に建設業者でない、自動車会社が参入して

市長 再委託については、除雪工区内の路線の統一性や効率性を考慮し適切な業者を選定、市と協議して決定して

質 来年度の、つや姫の作付け促進策はごうですか。

市長 つや姫の栽培は、堆肥の購入費や堆肥散布費用を助成していきます。



石塚ミツ子議員

農業は食糧、地域経済、環境問題でTPPに反対

質 TPPは農業を壊滅に導き、安定した食糧供給ができず、地域経済に大きく影響しますが参加をどのように思いますか。また、本市にどのような影響があると思

市長 国が将来の農業に対する政策やビジョンが明確に示されていない現状で、TPPへの参加に対し反対すべきものと考えています。

質 今年の米価下落に対する、市独自の救済策はごうですか。また、無利子の融資制度などはできないの

市長 山形県で米価下落等に対する緊急支援対策として、生産者の円滑な資金繰り

質 国保財政が、また厳しくなつたと言つが、値上げを考えていますか。弱者の加入率が高い国保は、全国で70%の自治体

が一般会計から法定外繰入れをしています。繰入れしてでも国保税引上げはすべきでないと思

うがごうですか。

市長 法定外繰入については、本市ではこれまで行つていません。本市の場合、国保加入者は約3割であり、一般会計から繰入れた場合、国保以外の保険に加入される約7割の市民の理解も必要となり、慎重にならざるを得ないと考えています。

質 国保税を払いたくても払えない人に、保険証を発行すべきと思

市長 国で定める「特別の事情」に該当する方については、資格証明書でなく、短期の医療証を交付して

質 医療費窓口負担の減額が可能となつたが、本市ではごう

市長 医療機関等での一部負担金の減額・免除及び徴収猶予に



12月定例会

一般質問



菅根光雄議員

高校生の就職に市の協力を

質 北村山・最北地区の高校に通う新規学卒者の就職内定状況はどうですか。地元の北村山高校にどう協力していますか。

市長 11月末時点の内定率は68・4%です。北村山高校に対しては、生徒を対象にした企業懇談会会員企業の見学会などを実施しています。

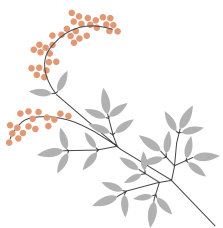
質 選抜高校野球大会の21世紀枠に山形県推薦校に北村山高校が選ばれ、出場できる可能性があります。市として支援を考えるとどうですか。市を上げて甲子園へ応援に駆けつけることを想像できるだけでも、年末の素敵なプレゼントではないのかと思います。どうですか。

市長 甲子園出場が正式に決まれば、大石田町とも連携して、市を上げて支援を行いたいと考えています。まずは、12月15日の東北高野連で推薦されることを期待を込めて見守りたいと思います。

質 中学校を卒業した子供たちが抱える悩みや、健全育成のために対応の取れるサポーターが必要ではないですか。また、家

庭にあった家庭力が喪失しつつあり、先生だけの対応では限界があります。常設的なサポーターを学校に配置する必要があります。どうですか。

市長 高校の中途退学者に関しては、義務教育の範囲を超えるものであり、中学校に報告を求めたり、高等学校と連携して報告を頂いたりということはありません。従って、市内中学校の中途退学者の数を正確には把握していません。しかし、生徒指導上、卒業生の動向も必要なこととあり、問題のあることについては、各中学校より報告してもらっています。相談窓口については、教育相談専門員のところだけです。中学校において、生徒自らの能力・適性や興味・関心等に応じて学校選抜のみならず、適切に進路選択できるように今後も指導していきます。



菅根光政議員

元気な尾花沢をつくる 施策とは

質 市長は、市民に夢と希望と活力を与えて、元気な尾花沢をつくるため、限られた予算の中でいかに加藤カラーを、そしてどのような活力あふれる施策を打ち出そうとしていますか。

市長 就任以来「元気な尾花沢を語る会」を開催し、多くのご提言をいただき、今後の市政に反映していきます。

特別養護老人ホームの開所にあわせた入所待機者の解消と地元雇用の確保に努めて、子育て支援対策・雇用の拡大・定住対策・さらにはトップセールスや6次産業化による産業の振興・流雪溝の整備など、重点的に推進していきます。

質 国保の医療費が増大しています。これを抑える手立ての一つとして、後発医薬品の利用拡大を図ること、新薬と後発医薬品の自己負担の差額を示した通知書を、被保険者に送付して理解を深めてはどうですか。

市長 昨年「ジェネリック医薬品お取り扱いカード」を全被保険者に送付し、医療機関等で意思表示をしやすいし、利用拡大を図

りました。今後とも医師会等と連携し努力していきます。差額通知については、他市等で実施の動きもあり、今後、検討していきます。

質 子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌のワクチン接種費用については、国・県それぞれの補助が見込まれています。本市の対応はどうですか。さらに、水痘おたふく風邪の予防ワクチン接種費用についてはどうですか。

市長 国が2分の1助成を決定し、県も4分の1助成の動きであり、本市も助成し、個人負担なしにワクチン接種が行えるよう対応をしています。子宮頸がんは、中学1年生から高校1年生まで、ヒブと小児用肺炎球菌のワクチンは、生後2ヶ月から4歳までを対象に実施予定です。水痘とおたふく風邪のワクチンは、任意接種となっており、保護者の判断により自己負担で接種を受けることになります。

全国的には助成を実施している自治体もあり、水痘が4千円〜8千円、おたふく風邪が6千円〜1万円程度が多いようです。

請願の審査結果

採択された請願

平成22年請願第10号

◎市道車段荒町線に、重要街路灯設置に関する請願

- 荒町区長 古瀬 喜一
- 畑沢区長 大戸 誠一
- 細野第1区長 齊藤 義夫
- 細野第2区長 水上 得雄

平成22年請願第11号

◎市道Ⅲ-29号線他流雪溝設置に関する請願

- 新町第2区長 佐藤 幸作
- 新町第3区長 佐々木清次
- 上町第2区長 小川 義三



流雪溝の整備が待たれる市道の排雪状況

平成22年請願第12号

◎上町3、臈気地内(市道Ⅲ-37、Ⅳ-19号線)に流雪溝の整備を願う請願

- 上町第3区長 小林 弘之
- 臈気区長 戸津 貞一

平成22年請願第13号

◎畑沢地内の林道を市道に編入を求める請願

- 畑沢区長 大戸 誠一

平成22年請願第14号

◎鶴子地内の林道を市道編入を求める請願

- 鶴子第1区長 本間惣太郎
- 鶴子第2区長 西塚一太郎
- 鶴子第3区長 大類彦一郎
- 鶴子第4区長 小松 衛

平成22年請願第21号

◎農家が安心して生産に取り組める施策の実現とTPP交渉参加反対に関する請願

- 村山市榑岡北町1-1-1
- みちのく村山農業協同組合
- 代表理事組合長 高谷 尚市

平成22年請願第22号

◎リフォーム資金助成条例の制定を求める請願

- 請願人代表
- 尾花沢市大字尾花沢臈気661-5
- 三共開発株式会社
- 代表取締役 石山 新一

継続審査となった請願

平成22年請願第15号

◎永住外国人への地方参政権付与に反対する請願

- 東置賜郡高島町二井宿1076
- 日本会議山形会長 梅津伊兵衛

平成22年請願第19号

◎高齢者の生活実態に見合う年金引き上げを求める意見書の提出を求める請願

- 全日本年金者組合
- 尾花沢市若葉町1-8-61
- 菅藤清一郎
- 尾花沢市若葉町4-5-17
- 吉田 春夫

不採択となった請願

平成22年請願第18号

◎最低保障年金制度の制定を求める意見書の提出を求める請願

- 全日本年金者組合
- 尾花沢市若葉町1-8-61
- 菅藤清一郎
- 尾花沢市若葉町4-5-17
- 吉田 春夫

◎後期高齢者医療制度の廃止に関する意見書の提出を求める請願

- 全日本年金者組合
- 尾花沢市若葉町1-8-61
- 菅藤清一郎
- 尾花沢市若葉町4-5-17
- 吉田 春夫

採択された意見書

◎議案第12号

農家が安心して生産に取り組める施策の実現とTPP交渉参加反対に関する意見書の提出について

記

1. 農家が安心して生産に取り組める施策の実現について
米価下落に対応できる個別所得補償の見直しや、農家の担い手対策などを含めた、効果的な農業施策を講ずること。
2. TPP交渉参加反対について

国民的議論がないままのTPP交渉への参加は断固反対であり、農林漁業者をはじめ国民各層と、十分議論と協議を尽くすこと。
以上1件の提出先は、国の関係省庁、県宛てに議長名で提出します。



可決された議案

平成22年 11月臨時会

- 議第58号 尾花沢市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議第59号 尾花沢市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議第60号 尾花沢市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について
- 議第61号 尾花沢市立尾花沢小学校校舎耐震改修及び渡り廊下改築工事請負変更契約の締結について

平成22年 12月定例会

- 議第62号 平成22年度尾花沢市一般会計補正予算(第6号)
- 議第63号 平成22年度尾花沢市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
- 議第64号 平成22年度尾花沢市簡易水道特別会計補正予算(第2号)
- 議第65号 平成22年度尾花沢市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

- 議第66号 平成22年度尾花沢市介護保険特別会計補正予算(第2号)
- 議第67号 尾花沢市手数料条例の一部を改正する条例の制定について
- 議第68号 尾花沢市路線バス運行に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議第69号 北村山広域行政事務組合規約の一部変更について
- 議第70号 尾花沢市過疎地域自立促進計画について
- 議第71号 字の区域及び名称の変更について
- 議第72号 字の区域及び名称の変更について
- 議第73号 平成21年度尾花沢市地域情報通信基盤整備工事請負変更契約について
- 議第74号 尾花沢市教育委員会委員の任命について

【議会案】

- 第12号 農家が安心して生産に取り組める施策の実現とTPP交渉参加反対に関する意見書の提出について

広域組合議会の報告

北村山公立病院組合議会

第3回定例会が、12月22日に東根市議場で開催されました。平成22年度事業会計補正予算と、組合を構成する3市1町の負担金額補正の2案件です。

事業会計補正予算では、上半期の状況を勘案し、年間入院患者数を当初比1千740人減の11万2千140人に、外来患者数を7千361人減の12万6千839人に補正しました。

事業収益と事業費用は、今年4月からの診療報酬引き上げなどにより、いずれも4千760万円増の合計55億9千160万円となりました。恒常的な医師と看護師不足が指摘され、北村山地域医療の中核として、経営の改善に向けて一層努力されるよう要望致しました。

3市1町の負担金総額は、21年度の利用率確定などに伴い、3千949万円増の5億5千42万円となり、本市の負担額は、474万円となりました。

慎重審議の結果、いずれも原案のとおり可決されました。

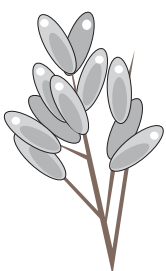
尾花沢市大石田町 環境衛生事務組合議会

10月定例会は、10月25日に開催され、平成21年度一般会計歳入歳出決算の認定、公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定及び水道事業会計決算などの認定3案件と、平成21年度水道事業会計剰余金の処分について1案件、さらに、平成21年度的一般会計補正予算、公共下水道特別会計補正予算、水道事業会計補正予算(第1号)が上程され、慎重審査の上、原案どおり可決されました。

一般質問は1議員が行い、入札について当局の考えを質しました。

平成21年度一般会計決算は、歳出で8億1千330万円。また公共下水道事業特別会計歳出は、7億5千419万円です。

ほか、人事案件として任期満了にともない監査委員には、新に工藤敏也氏が選任されました。



行政調査報告

総務文教委員会

○調査期日 10月12日～14日

◎高知県須崎市
まち全域がサービシエリア構想について

市周辺では道路網の整備が急速に進み単なる通過点になるの
で、市全体に立寄り、給油、休
憩等をしてもらい交流人口の拡
大をはかることを目的に「まち
全域がサービシエリア構想」を
立ち上げ、市の活性化を図って
いました。

◎高知県安芸市
移住定住推進プロジェクト全般
について

ナスの生産出荷額が日本一の
安芸市では人口1万9千人で本



大好評の安芸市内原野住宅団地視察

市と同じ人口規模で、人口減少
に歯止めをかける政策として、
地域住宅計画を策定し、国交省
総務省よりの補助事業を導入し
ていました。59区画の住宅団地
を造成し、分譲単価も坪当たり5
万円台で完売し、木材も地元木
材を活用、建築業者も地元業者
限定で施工に当たっていること
が大変参考になりました。

◎愛媛県東温市
エコキッズ支援事業について

地域の子供達に環境問題の大
切さを教えながら、「東温市環境
基本計画」を策定しました。太
陽エネルギーやバイオマスエネ
ルギーの活用を市全体で活用
していました。

市民厚生常任委員会

○調査期日 11月8日～10日

◎京都府京田辺市
大住ふれあいセンター「宝生苑」
について

老人福祉センターと児童館の
それぞれの施設目的を複合し、
高齢者と子供たちが自然な形で
共にふれあい、世代を越えた交
流が活発に行われ、人づくりの
拠点となる施設です。建設費用
が13億9千600万円で、多くの高
齢者と子供たちで賑わい、機能
的であればらしい施設でした。

◎奈良県香芝市
次世代育成支援行動計画につ
いて

地域ぐるみの子育て支援に向
けた基盤づくり、その基盤の上
に築かれる家庭の子育て支援、
家庭を基盤として伸び行く子供
たちの支援を行う内容です。
健康かしば21について

香芝市に住むすべての子供・
保護者が、自分たちのまちで自
らの明るい「みらい」を考え、
実行していくことができるよう、
まちぐるみで子育て支援の取り
組みを実施するため、住民と行
政がともに共有するべき考え方
を示す内容です。

◎奈良県大和郡山
コミュニティバス運行事業につ
いて

市街地における公共施設と、
近鉄、JR郡山駅間と、さらに
郊外へもコースを延伸し、高齢
者を始め多くの市民の利便性と
社会進出を図るものです。現在
3路線運行し、ほとんど満員状
態とのことで、奈良交通に委託
しています。

市の面積が42・68km²で、人口
が増え続け9万943人という状況
です。本市と比較すれば、まさ
にうらやましい限りで、いかに
人口の増えるまちづくりを進め
るかを、身にしみて感じた次第
です。

産業建設常任委員会

○調査期日 9月21日～23日

◎北海道日高町
地域農業再生プロジェクト・農
産物のブランド化推進事業

特に菌床しいたけの推進につ
いては、農協職員が農家の現地
に出向き直接指導に当たってい
る意気込みは、18年度と21年の
数量並び収益が2倍強の伸びを
示し、成果を実感しました。

◎北海道南幌市
企業立地促進及び移住・定住促
進への取り組み

南幌ニュータウンは、尾花沢
より安く設定し、売れ残りも多
いが精力的に取り組んでいる気
迫がうかがわれました。また、
移住体験事業は、60歳以上の夫
婦が大半を占め21年度は14組
(31名)利用日数計38日、夏期
に集中している状況でした。

◎北海道岩見沢市
住宅リフォーム助成事業

「住宅のリフォームをする方
に工事費の一部を助成します」
のキャッチフレーズで19年度か
ら開始し、1千682件の利用状況
で地域の活性化、定住促進が目
的であり、その効果は地域の工
務店関係50社が仕事に携わるな
どの実績で評価されるものでし
た。



私のひとこと



折原 純一さん (鶴巻田)

◎環境とたばこ

今喫煙を取り巻く環境は一段と厳しさが増しており、愛煙家の範囲が大きく狭まっている状況にあります。

さらに追い打ちをかけるように昨年10月1日より、過去に例のない大幅なたばこ税の増税が実施され、より厳しい方向へと変化しています。私もたばこを吸う一人として大きな抵抗を感じています。

例えば昭和50年代に入院したことがあり、その時は酒は飲んでは駄目だったが、たばこは病室でも平気で吸っていられた時代でした。それが自然でした。今はどこへ行っても禁煙の張り紙だけが目につきます。

公共施設は特に厳しく感じます。尾花沢市にもたばこ税の交付金は、1億数千万円が来ているはずですが、愛煙家による市への収入源です。

私は、提案します。各公共施設に吸引式による、きちんとした喫煙室を設けることです。大切なことは、喫煙者と非喫煙者の共存を図ることです。

個人の尊重や自由を害する公的権力の介入は避け、喫煙者が肩身のせまい思いをしないでたばこが吸える場所を確保することです。こういう形をとれば、受動喫煙の健康影響を最小限におさえ非喫煙者の方々に大きな理解が得られるものと考えます。

また、受動喫煙の健康影響に對しても、十分に根拠があるかどうかでも慎重に検討する必要があると思います。喫煙者は喫煙マナーを徹底することにより非喫煙者との共存が、よりスムーズに、敬遠されることなく受動喫煙の解消が図られるとともに、非喫煙者の不安を払拭することができると思います。

環境保全は、本当に大事なことです。喫煙者による環境問題だけでなく、地球に住むすべての人たちが、そして生物が共存できるように、自然の流れに背くことなく、自然界に循環している形で利用できれば、環境全体のバランスを大きく崩すことはないでしょう。

現実には、石油などの燃料や化学合成物質の大量利用により環境の悪化が生じています。だから

らと言って撤廃することはできないが、適切な利用により環境保全に大きくつなげられると思います。こうした人間の乱開発に多くの生物は順応し共存していません。

議会のひびき

◎尾花沢市総合企画審議会委員

- 鈴木 忠 議員
- 鈴木 敏正 議員
- 伊藤 精一 議員
- 菅原 光政 議員
- 加藤 克彦 議員

◎尾花沢市環境審議会委員

- 菅原 光政 議員
- 以上、新たに選任されました。

議会傍聴には是非どうぞ

各議員と市執行部との真剣な質疑のやりとりを傍聴できます。

ご希望の方は議会事務局にお問い合わせください。

議会事務局 ☎(22)1111

あじがき

平成22年の夏、今だかつてない高温と大雨の影響で米がどうなるのか心配されました。米価の生産者価格の下落問題が議会で大いに議論となりました。そこにT.P.P(環太平洋パートナーシップ協定)が浮上し、これに参加した場合世界的な食料不足が予想されているのに消費者に安定した食料供給が続けられるのかも含め、この問題は農業生産者だけではない色々なことが含まれています。農協から出された請願も全会一致で可決となりました。農業圏である当市にとって農業情勢の動向は地域経済にも大きく影響します。暑すぎた夏が過ぎ、冬本番、今度はインフルエンザやノロウイルスの流行も心配されます。市民皆が元気で暮らせるようにとその環境づくりにも今後も議会活性化に心してゆきたいと思えます。(石塚)

市議会だより編集委員

- ◎菅野 修一 ○笹原 光政
- 伊藤 精一 奥山 格
- 石塚ミツ子 加藤 克彦
- 五十嵐佳満

- ◎委員長 ○副委員長